

学校だより 2月号 すずかけ

「心豊かで かしこく たくましい子の育成」
—温かい心と、やりぬく強さ—

市川市立鶴指小学校

令和5年2月1日

市川市大和田4-11-1

047-379-3588

児童数 450名

年明けから1か月经過、今日から2月スタート

2023年も早や一か月が過ぎました。時がたつのが早く感じる今日この頃です。子どもたちも日に日に成長し、6年生は中学生へ、そのほかの学年も進級を控えた4月からの新しい生活に向けて着々と今年度のまとめの時期を過ごしています。

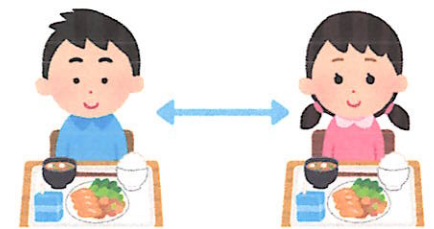
さて、2月というと思い浮かぶのが節分、豆まきです。大ヒットしたアニメや最近のドラマでも『鬼=悪者、怖いもの』というイメージが定着していますが『泣いた赤鬼』にでてくるような心の優しい鬼は存在するのでしょうか。実際に地方によっては、鬼が町の守り神であったり、節分の掛け声が「福は内、鬼は内、悪魔外」という地域もあるとのこと。また厳密には鬼とは違いますが、有名な秋田県の「なまはげ」は、恐ろしい鬼のような面をつけ「悪い子はいねがー、泣く子はいねがー」と子どもたちに恐怖を与える存在ですが、それによって子どもたちは親の言うことを聞くようになるという側面もあります。なまはげの正体は男鹿の山々に住む神の使いと言われ、年の節目に厄払いや怠け者を戒める存在だそうです。さらに最近では、美味しいものを食べて「鬼美味い」というように「すごく」という意味で使われることもあり、某太鼓のゲームでは鬼レベルというものもあるとのこと。



こうして考えてみると、鬼が一概に悪いものと決めつけるのも良くないように思えてきます。人権についても関心が高まっている現在、鬼が悪いものと決めつけてしまう、そんな人の心が一番の悪いものなのかもしれません。また働き方改革も進んでいる今、自分も「仕事の鬼」とならずライフワークバランスをとり、また心の内に潜む「鬼」を打ち払いながら、過ごしていきたいと願っています。

給食時間の感染予防対策について

『新たな学校生活スタイルガイドライン』（令和5年1月改訂）が市川市教育委員会のホームページに更新されました。現在、給食時には感染症対策として黙食を実施していますが、今回の改訂により換気を徹底し、身体的距離を確保した上、児童生徒間で小さな声で会話することを可とすることが示されました。但し本校の状況からすると教室の広さ、一クラスの児童数からコロナ以前のように班で給食を食べようとすると前後左右おおよそ1mの身体的距離が確保できず、またマスクを外した状態で会話をするにまだ抵抗がある児童がいることも事実です。



そこで本校では、座席は今まで通り全員前向きで、となりの友だちと小さな会話は可とする方向で今後、取り組んでいこうと思います。具体的には、お昼の放送に小声で反応することや先生に声を掛けることなどが想定されます。今後、政府で検討しているようにコロナが5類に引き下げられ、屋内でのマスク着用も緩和されるようになるまで、コロナ以前のような給食風景はもうしばらくお預けとなりますが、一日も早いコロナウイルス感染症の収束を願い、ご理解のほどお願いいたします。

～第2回 学校評価アンケート結果より～

お忙しい中、学校評価アンケートへご協力をいただきましてありがとうございました。

《確かな学力》児童が主体となって学習に取り組む力を育てられるよう、引き続き工夫していく必要があることが分かりました。授業の中ではもちろんのこと、ご家庭と連携しながら進めて参りたいと思います。さらに、私たち自身が学び続ける姿勢を大切に、児童の学習に対する興味関心を高められるよう、良い授業づくりに努めて参ります。

《豊かな心》「自分の役割に責任を持っている」鶴指っ子が、多くいることが分かります。委員会活動や清掃活動・日々の学級内での係活動など、様々な場を通して責任感を育てていく事ができるよう引き続き努めて参ります。気持ちの良い「挨拶」ができ、他者に対する「優しさ」あふれる児童の育成を目指します。

《健やかな体》「規則正しい生活習慣」をより多くの児童が身に着けることができるよう、ご家庭との連携を大切にしながら進めて参ります。睡眠や食事の重要性について考える機会を設ける等、工夫して学習に取り入れていきたいと考えます。

《信頼される学校》温かく見守っていただき、深く感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症への対策は今後も続きそうですが、少しずつ、保護者の皆様や地域の方々にも学習活動に参加していただけるような場を工夫して設定して参りたいと考えます。今後も引き続き、児童の思いを大切にすることはもちろん、「保護者の方々と共に育てる」という視点を大切にして参ります。さらに、一人一人への適切な支援ができるよう、努めて参りたいと思います。

個々に寄せられたご意見は教職員で共有し、今後の学校運営に活かして参ります。

設 問	評 価 項 目	R3年				R4年							
		6月		12月		6月		12月					
		鶴指小	市川市	鶴指小	市川市	鶴指小	市川市	鶴指小	市川市				
確 か な 学 力	1	お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。				88	88	88	88	90	87	88	87
	2	お子さんは、わからないことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいる。				64	65	66	60	62	64	59	65
	3	お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。				73	77	72	74	69	74	71	73
豊 か な 心	4	お子さんは、友だちや近所の人などに、自分から進んであいさつをしている。				76	76	76	76	74	75	71	76
	5	お子さんは、自分の役割に責任を持って取り組んでいる。				83	87	85	88	86	87	88	88
	6	お子さんは、誰とでも優しく関わっている。				79	93	93	93	93	93	91	92
健 や か な 体	7	お子さんは、すすんで（外で遊ぶなど）体を動かしている。				88	77	75	74	78	77	69	73
	8	お子さんは、自らの安全（交通事故・けがなど）に気をつけて生活をしている。				82	89	88	90	89	89	89	90
	9	お子さんは、規則正しい生活習慣（睡眠・食習慣など）が身についている。				83	85	80	84	84	85	81	84
信 頼 さ れ る 学 校	10	学校は、目指す子どもの姿や学校経営方針について、保護者に理解されるよう努めている。				90	87	84	87	90	87	91	87
	11	学校は、保護者や地域の方々とともに、子どもを育てる取組を進めている。				89	87	86	87	90	87	86	87
	12	学校は、保護者の思いや願いに対して適切に対応している。				87	87	86	87	87	86	88	86
	13	学校は、特色ある取組や教育を進めている。				72	75	68	75	77	76	76	78
	14	学校は、子ども一人一人に適切な指導や支援を行っている。				83	79	78	80	79	78	80	79